

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	評価区分	A
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】		
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成		
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	障害者総合支援法に基づき障害福祉サービス受給者証をお持ちの方に、就労継続支援B型事業を実施しました。新型コロナウイルス禍の影響もありましたが、新規事業導入により支払い工賃が増えました。外来実習を受け入れ新規利用者確保にも取り組みました。	A	法令に則り、適切な事業運営がなされている。	意見なし		
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	ご本人及びご家族に「重要事項説明書」や「個人情報使用同意書」など契約に係る説明を行い、それぞれ署名捺印をいただいています。また、法改正に伴う変更についても、その都度説明を行い、書面にて同意をいただいています。	A	本人及びその家族へ、適正な方法で行われている。	意見なし		
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	昨年度に引き続き、障がい者サロンなどが中止となり、広報活動の場が減少しましたが、相談支援事業所と連携し新規利用者2人と契約ができました。(1名は令和4年4月利用開始) 就労希望の利用者1人が就労継続支援A型に移行しました。	A	コロナ禍にあるものの、相談支援事業所と連携することで、新規契約に繋がる成果をあげた。	意見なし		
< 課題 >		新規利用者2名と契約できましたが年度末までに3人が契約解除となり、新規利用者の確保がさらに重要となりました。(1人転出、1人難病、1人就A)		これまでの取り組みに加え、より効果的な広報活動、相談支援事業所などとの一層の連携強化が求められる。	意見なし		
< 改善内容 >		相談支援事業所や特別支援学校だけでなく、市内の他事業所との連携や隣接する市町にも働きかけます。また、障がい種別に関わらず広く利用者を募ります。		課題解決に向けて、改善方法を検証し、新規利用者の確保に努めること。	意見なし		
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	身体障害者の就労継続支援B型事業所として、重度の障害や進行性の障害をお持ちの利用者や、支援困難な事例の利用者を積極的に受け入れていきます。また、就労支援A型で継続することが難しくなられた利用者や、精神障害をお持ちの利用者の受け入れもしました。	A	施設の目的に沿って、利用者に必要な支援が適切に行われている。	意見なし		
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	個々の障がいや特性に応じた作業や工程・環境をご本人と相談し、負担なく効率的に作業できる環境を提供しました。障害程度や体力に応じ利用日や利用時間の調整や変更にも対応しています。就労意欲が増すように、付加価値の高い作業を導入し、工賃収入が増収するよう努めました。	A	利用者のニーズにきめ細かく対応することで、利用回数の促進などを図る取り組みがなされている。	施設送迎を実施することで利用率向上が見込まれるので、前向きに検討してもらいたい。		
< 課題 >		高齢化や重度化により自力通所が困難になっている方や、保護者の高齢化により送迎が負担になっている方、また、重度の新規利用者を対象に送迎を行える体制を整える必要があります。		高齢の利用者や重度障がい者を受け入れるための体制整備が課題である。	意見なし		
< 改善内容 >		市とも協議しながら、自力通所が困難な利用者に対して送迎の試行をすすめていきます。		自力通所の考え方を整理し、利用環境の検討を重ねる必要がある。	意見なし		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度		
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	年度初めに嗜好調査、摂取調査アンケート、毎月リクエストメニューアンケート、年度末にサービス全体に対するアンケートを定期的実施しています。	A	定期的に行われている。	意見なし		
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	毎年アンケートをもとに給食の献立に反映し高評価を得ています。前年度に続き更に工賃の増加を望まれる声が多かったので、市からの封入・封緘作業や包装作業に加え、多くの利用者に関われ付加価値の高い組立作業も導入しました。	A	利用者のニーズを把握し、満足度の向上に努めている。	意見なし		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	要望や疑問等についてはその都度話を伺い、できないことはその旨を丁寧に説明し、できることについては早急に対応しました。	A	利用者により寄せられた対応がなされている。	意見なし		
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	施設内に意見箱を設置していますが、直接訴えられることも多く、その都度対応しました。利用者の意見が割れる時は折衷案を考え両者に納得いただく形をとりました。また、個別面談時に要望や意見等を伺い、意向に沿った計画書を作成し支援に活かしました。	A	意見箱を設置するなど、アンケート以外にも利用者のニーズの把握に努め、意向に沿った計画書を作成されている。	意見なし		
サービスの質を向上させるため具体的な取り組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	要望の多い工賃の増収に対し、作業を整理して、付加価値(高賃単価)の高い作業の導入に努めた結果昨年の平均工賃と比べ1万円以上増収することができました。	A	引き続き利用者により寄せられたきめ細かな対応を継続的に進めたい。	意見なし		
< 課題 >		給食の献立や工賃の増収など利用者には高い評価を得ましたが、コロナ禍において行事の実施のタイミングが問題です。(忘年会は当年度は実施)		コロナ禍でも実施できる新たな取り組みが必要である。	意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
<改善内容>		新型コロナウイルスが収束しない間は、感染の波が低くなったタイミングで行事を実施する等検討していきます。		感染対策をしっかりと講じたうえで、利用者にとって有益なものとなるよう工夫を凝らすこと。	意見なし	
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	換気ありきで室温調整を行うため、電気代は上がりましたが、食洗器効果と職員の経費削減への取組みにより、水道代とガス代、修繕費は抑えられました。	A	感染対策を実施しつつ、経費節減を図る工夫がなされている。	意見なし	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	業者委託での契約に際し、相見積を取り安価な業者と契約いたしました。	A	引き続き経費がより最小となるよう努めること。	意見なし	
<課題>		工夫や努力だけで削減するには限界があり、照明器具のLED化など省エネルギーの機器を導入することも検討する必要があります。		中長期的な方向性を定め、計画的に取り組む必要がある。	意見なし	
<改善内容>		市と協議しながら計画的に進めていきます。		経費節減につながる取り組みを期待する。	意見なし	
(2-2) 収入の増加	A		B		(2-2) 収入の増加	
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	A	新型コロナウイルス対策だけでなくけがなどで通所困難になられた利用者に対し在宅支援を実施しました。 急な欠席者に対しては電話等で、受診や安静などの助言をするなど、欠席時対応をおこないました。 利用者の通所意欲を高めるため、新規作業の導入など工賃向上に取り組みました。	B	新型コロナウイルスの影響によりサービス利用を自粛する者に対する在宅支援や新規作業を導入するなど、収入確保を図る取組みがなされている。	意見なし	
収入の増加など取組みの効果は得られたか。	B	在宅支援や欠席時対応加算により欠席時の収入の減は最小限に留めました。 平均工賃を増加させることができ給付費の区分を1つ上げることができました。	B	収入減を抑えるための取組がなされ、一定の効果は得られている。	意見なし	
<課題>		定員を大きく下回っているため、新規の利用者を獲得することが課題です。 高齢化や重度化のために毎日利用できない利用者に対し、利用日数を増やすための対応が必要です。		利用定員を大きく下回っていることは、事業収入の減につながる要因の一つとなっている。新規利用者を確保するため、事業の見直しを含めて効果的な新たな取組みを検討すること。	利用率を上げるための工夫が必要。	
<改善内容>		特別支援学校や一般の体験実習を積極的に受け入れ、利用契約につながるよう努めます。 自力通所が困難な利用者に対して送迎をおこなえるように体制づくりに努めます。 障害種別に関わらず利用者を受け入れます。		新規利用者が増加するよう、具体的な取組みと成果を期待する。	意見なし	
(2-3) 収支のバランスなど	A		A		(2-3) 収支のバランスなど	
収支のバランスは、適切であったか。	B	利用契約者数が減ったため収入の減がありました。 支出に関しては、新型コロナウイルス感染防止対策をおこなったうえで最小になるように努めました。	B	新型コロナウイルスの影響により、難しい事業運営が求められる中、収支バランスをとろうと努力された。	意見なし	
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	A	補助金収入により、コロナ禍で必要な消毒液や検査キットなどを購入でき、感染予防対策費用として効果的効率的な執行ができました。その他の支出についても支障がなければ安価なものを選択購入し、効果的かつ効率的な執行をしました。	A	適切に行われている。	意見なし	
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支の内容を十分理解し、適切に執行しました。	A	適切に行われている。	意見なし	
<課題>		年度内に3人が契約解除し新規契約者が2人のため、収入を安定させるためには新規利用者の確保が必須です。		新規利用者を確保するためには、相談支援事業所等との連携を進めるとともに、事業の見直しを含んだ効果的な新たな取組みが求められる。	意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】		
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
<改善内容>		障害種別に関わらず新規利用者を受け入れます。中途障害で一般就労が無理になった方や障がいにより通所が安定しない方も積極的に受け入れます。		新規利用者が増加するよう、積極的に取り組むことを期待する。	意見なし		
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み(適正性)		
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況		
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	サービス管理責任者を専従させ、指定基準上の適切な人員配置を行いました。将来を見据えて2人目のサービス管理責任者を配置し、育成に努めました。	A	適切な人員配置が行われている。	意見なし		
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	職員個別研修計画を作成し、全職員が年に1度以上、研修に参加しました。研修報告書を職員間で供覧し、内容を共有しました。新型コロナウイルス感染防止のためウェブやZoomなどを利用してインターネットによる研修も取り入れました。	A	コロナ禍においても研修への参加機会を確保し、職員の能力向上に努めている。	意見なし		
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	建物及び設備が古くなっており、修繕箇所が増えています。可能な箇所についてはできるだけ職員による修繕で対応し、危機管理及び経費削減に努めました。	A	適切に行われている。	意見なし		
施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	年に1度内部監査を実施し運営状況を確認しています。職員に対し常設相談窓口を設け、いつでも相談できる体制をとっています。	A	工夫を凝らし、施設の良好な管理運営を図っている。	意見なし		
<課題>		全職員が法令を正しく理解し、適切な事業運営を行っていくために、事業所内の研修や外部研修への参加など、継続的な取り組みが必要です。		これまでの継続的な取組に加え、研修の効果をさらに高めるため、出席者が他の職員に研修で得たものを還元する方を検討すること。	意見なし		
<改善内容>		全職員が研修に参加する体制を強化し、内部研修等も行い法令に対する意識を高められるように努めます。毎年更新している事業者ハンドブックをできるだけ多くの職員が活用することで、法令への理解を深めます。		単に研修に参加するだけでなく、全職員で研修の効果を共有できる取り組みを期待する。	意見なし		
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	管理者がすべての個別支援計画作成状況のチェックを行いました。年1回法人の内部監査も行い、チェック体制を強化しました。	A	適切にチェック体制が整備されている。	意見なし		
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報の取り扱いについては、利用者に説明し、署名捺印をいただいています。個人ファイルや個人情報を含む書類は事務所及び作業室の鍵付きロッカーに保管しています。不要になった書類はシュレッダー処理をしています。	A	適切に取り扱われている。	意見なし		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	作業室、廊下の幅員を十分に確保するために、資材等の整理整頓に努めました。危険だと思ふ事柄については「ヒヤリはっ」と記録し、職員間で共有し改善しました。	A	適切に実施されている。	意見なし		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	実際の人員に合わせてフローチャートを作り直し、消防避難訓練を実施しました。消防設備点検を定期的に行い、動作不良の無いようにしています。防犯カメラで不審者等のチェックも行いました。	A	利用者の安全を最優先に危機管理体制を構築している。	意見なし		
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故対応や水防など災害時対応マニュアルを整備し、周知しました。事故発生時には報告書を作成し今後の対応についても職員間で話し合い共有しました。	A	事故発生時には、報告書を作成し、原因究明に取り組んでいる。	意見なし		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。		該当なし		該当なし	該当なし		
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平かつ適切に実施したか。	A	障がい種別に関わらず、本人の希望と障がい特性等を考慮し、当所との適合性を考慮しています。今のところ利用を当初からお断りした事例はありません。	A	適切に実施されている。	意見なし		
<課題>		管理者をはじめ複数でのチェック体制の強化や法人の内部監査による指導・助言などに引き続き取り組む必要があります。		引き続き、法令順守、個人情報の保護、安全対策などに係る施設運営に適切に取り組むこと。	意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西作業所	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 障害福祉課		
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
<改善内容>		<p>今後も指摘事項については早急に改善し、法令遵守及び危機管理の意識を職員間で高められるように情報共有に努めます。</p> <p>災害時の避難経路の見直しやマニュアルの確認に加え、BCP(業務継続計画)の作成にも取り組みます。</p>			<p>近年大規模な災害が全国的に多発していることに加え、新型コロナウイルス感染症の発生など、防災マニュアルや感染症マニュアルなどは適時見直すとともに、事業継続ができるよう業務継続計画の作成にも取り組むこと。</p>		意見なし
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A			A			
・評価できる内容		<p>新型コロナ感染症の陽性者が出ましたが、濃厚接触者を出すことなく、開所を継続することができました。感染防止のため利用を自粛した方や、けがのために通所ができなくなった方に対し、電話や訪問をすることにより、健康チェックや生活改善の助言をおこなう在宅支援を実施しました。</p> <p>衛生管理に対する意識が高まり他の感染症による欠席はありませんでした。</p> <p>十分な感染防止対策をとったうえで、2年ぶりに、所内行事で希望の多かった忘年会(マジックショーと茶話会)をおこない利用者の方々に好評でした。</p>			<p>新型コロナウイルスの影響により、難しい事業運営が求められる中、様々な感染対策を実施するとともに在宅支援にも適切に取り組まれた。</p>		意見なし
・令和3年度に改善した内容		<p>各相談支援事業所に定員に空きがある状況を伝え、サービス内容なども周知しました。</p> <p>作業の見直しを行い、付加価値(高賃単価)が高く、工程を分割することで多くの利用者が関われる作業を複数導入し、昨年よりも平均工賃が増加することができました。</p> <p>玄関の点字ブロックの修繕は完了しています。</p>			<p>新規契約のための広報活動を行うとともに、作業を見直すことで、工賃を増やすことにつながった。</p>		意見なし
・令和3年度に改善したことによる効果		<p>相談支援事業所と連携し2人の利用者と契約ができました。</p> <p>平均工賃が支払いベースで3万円を超えたため、給付費の基本単価の区分が1つ上がりました。</p> <p>玄関工事後に、現場での転倒事例は発生していません。</p>			<p>引き続き工夫を重ね、利用者を第一に考えた運営を望む。</p>		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点		<p>年度内に契約解除者が3人、それに対し新規契約者が2人と利用定員に対し大きく下回っています。新規利用者を確保する必要があります。</p> <p>施設・設備も老朽化しており危険箇所については早急に改修が必要です。</p> <p>空調設備で交換済みの室外機(チラー)に比べ従前の室内機(ファンコイル)の能力が低いため冷暖房能力が低く効率が悪くなっています。また、老朽化し毎年水漏れをおこしています。</p>			<p>利用定員を大きく下回っていることは、事業収入の減につながる要因の一つとなっていることから、新規利用者を確保するために、事業の見直しを含めて効果的な新たな取り組みを期待する。</p>		利用率を上げるため、施設送迎を検討してもらいたい。
・改善方法とその時期		<p>新型コロナ禍の中でも、感染防止対策を徹底して行い、見学や体験利用を積極的に受け入れ、障がい種別に関わらず新規契約に努めていきます。近隣市町や他の事業所とも連携をとり空き状況の発信を行います。</p> <p>エアコンファンコイルは令和4年度内に全数交換修理予定です。</p>			<p>感染防止を徹底し、積極的な取り組み及び計画的な修繕を実施すること。</p>		意見なし

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- (2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A, B, C, D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。